

Canon

ダイヤル35

使用説明書



Canon

ダイヤル35

このたびは、キヤノンダイヤル35をお選びくださいましてまことにありがとうございます。世界のカメラとしてひろく親しまれているキヤノンが、これまでのカメラというイメージを完全に破って完成したユニークな35ミリデミサイズカメラです。気軽に片手で撮影のできる機構とスタイルをもち、しかもキヤノンの技術にうらづけられた高性能機です。皆様のメモがわりにスピーディな速写をお楽しみください。

商品構成：

ダイヤル35・ソフトケース・リストストラップ

キヤノンダイアル 35の主な性能

型式：35mmフィルム使用の24mm×18mm判デミサイズカメラ

レンズ：キヤノンレンズ SE 28mm F 2.8 改良トリプレットタイプ 3群5枚

構成 マゼンタとアンバーを配合したスペクトラコーティング

焦点調節：▲（風景） 幺（グループ） ●（ポートレート）の3つのゾーン
フォーカスマークを利用するヘリコイド式

シャッター：1/30, 1/60, 1/125, 1/250秒 ビハインドザレンズ シャッター

メーター：CdS方式 レンズの絞りと完全連動するシャッター優先式EE 1.3V
水銀電池1コ使用

メーターの作動範囲：ASA 100に対して LV6~LV21 に相当する明るさの範囲

フィルム感度目盛：ASA

| | | | | | | |
|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 8 | 12 | 25 | 50 | 100 | 200 | 400 |
| 10 | 16 | 32 | 64 | 125 | 250 | 500 |

ファインダー：画界を示すブライトフレームのほかに 絞り目盛やゾーンフォーカスマークも同時に眺められます

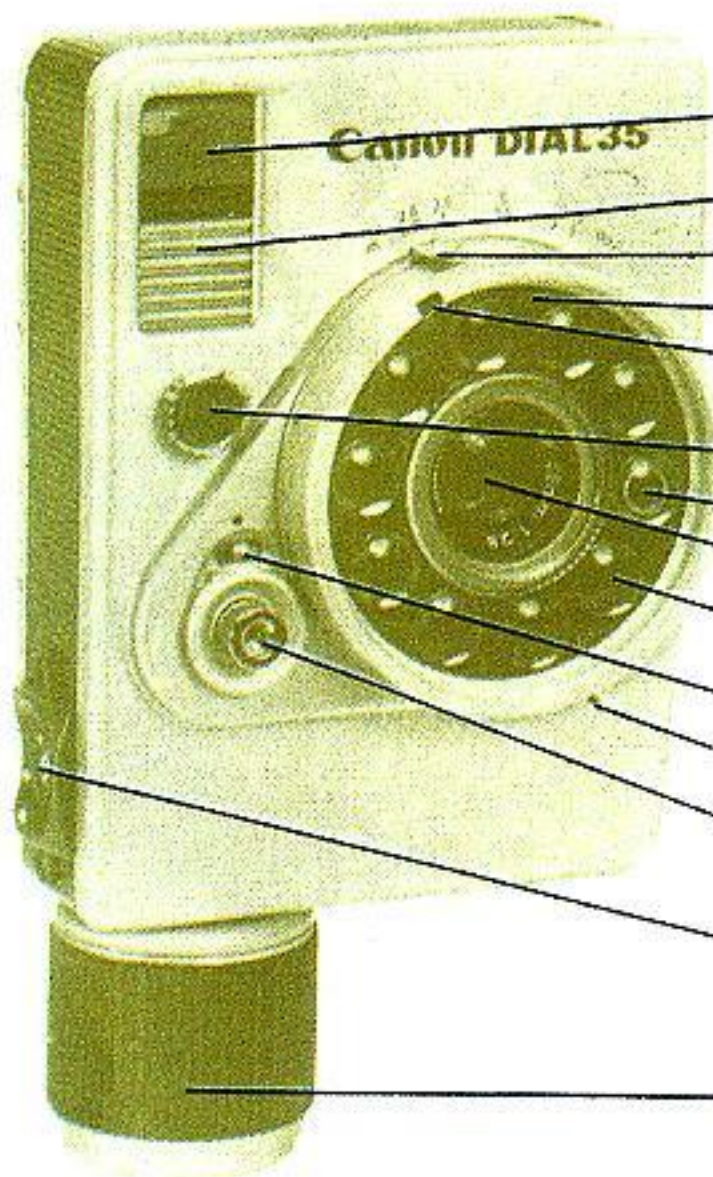
自動空送り装置：フィルムを装填してからスプリングモーターを巻上げるとフィルム枚数計はSから0に進んで フィルムの空送りがおこなわれ自動的に1枚目がセットされます

フィルム枚数計：巻上げ 巻戻しに連動する自動表示式

フィルム巻上げと巻戻し：スプリングモーターによるパワードライブ方式

フラッシュ同調：X接点, スピードライト M級 F級に対し同調可能

大きさ・重量：99mm×75.5mm×43.5mm/430g



ファインダー窓

照明窓

フォーカシングレバー

フィルム感度目盛

フィルム感度指標

オート-フラッシュ切換え
ボタン

受光部 (CdS内蔵)

撮影レンズ

ASA感度調節レンズ群

フィルム枚数計

シャッター指標

シャッターボタン

フィルム巻戻し用ボタン

スプリングモーター巻上
げグリップ

キヤノンダイアル35の10大特長

1

スプリングモーターによるフィルム巻上げ（パワードライブ）とシャッターチャージ

2

シャッターボタンを押すだけで連続撮影が可能

3

スプリングモーターによる自動巻戻し（パワーリワインド）

4

グリップを巻上げるだけのオートマチックローディングセット

5

フィルム送り、巻戻しのいずれにも連動する逆転可能フィルム枚数計

6

デミサイズカメラとして最初のCdSメーター組込み、シャッター優先式EE完全連動システム

7

適正露出窓と距離表示窓をそなえた明るいマークファインダー

8

フィルター倍数の自動補正

9

24mm×18mm判デミサイズ、横位置撮影

10

気軽に片手で撮影できる構造とユニークなデザイン

ご使用にあたって

キヤノンダイヤル35を十二分にご利用いただくために、次の点にご注意ください。

- キヤノンダイヤル35は、フィルムをつめてスプリングを巻上げないと、シャッターがチャージされず、またシャッターボタンを押してもシャッターは切れません。

- 連続撮影のさい、フィルムが完全に巻上がらないうちにボタンを押さないでください。

- キヤノンダイヤル35にはキャップがありません。カメラを使用しないときには、かならずケースにしまっておいてください。

- 巻上げグリップは必ず矢印（グリップ底部にある）方向に回すこと。逆転は故障の原因になりますからご注意ください。

- リストストラップの取り付けが十分でないとカメラを落とすおそれがありますから硬貨で固くねじこんでください。

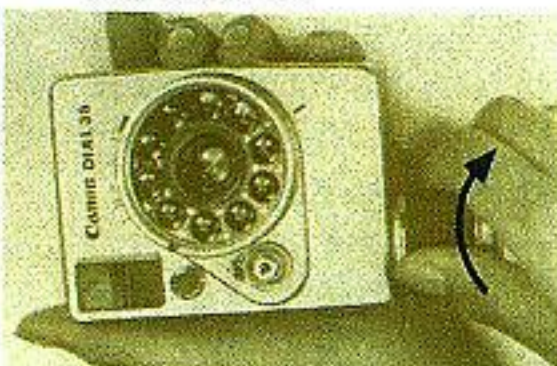


キヤノンダイヤル35の撮影手順

1 フィルムをつめます。



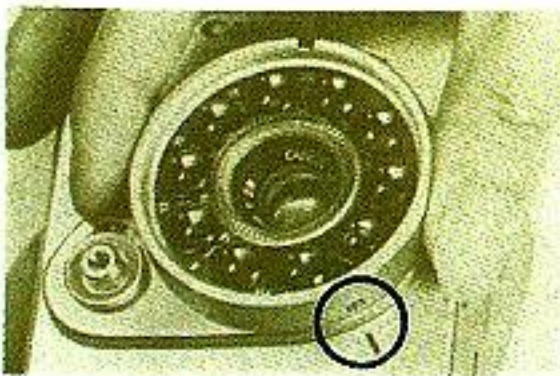
2 スプリングモーターを巻上げます。



3 フィルム感度を合わせます。



4 シャッタースピードをきめます。



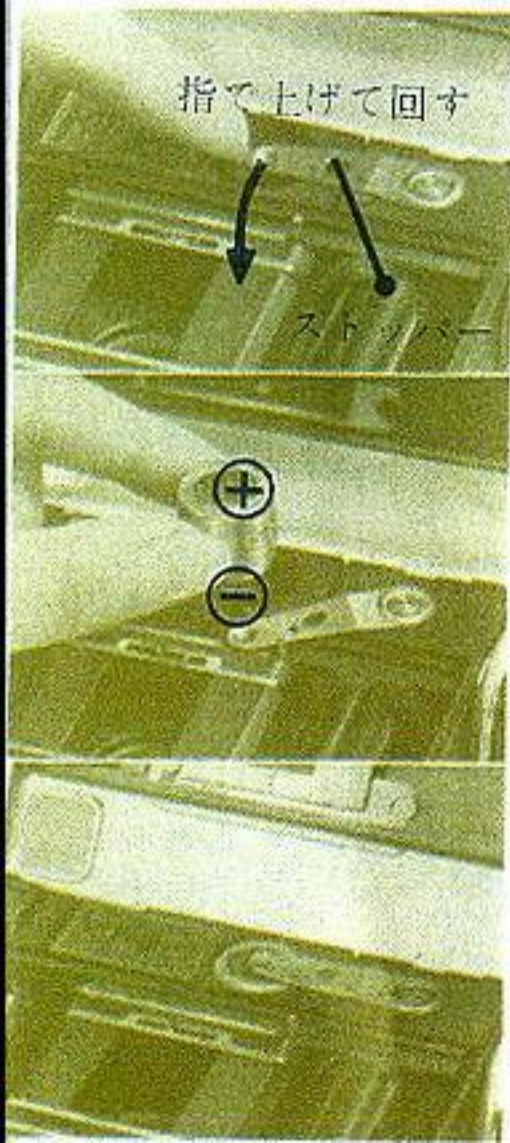
5 ファインダーを覗いてゾーンフォーカスマークに針を合わせます。



6 メーター指針を確かめて、シャッターボタンを押します。



水銀電池の入れ方



キヤノンダイヤル35をご使用になる前に、別封の水銀電池をカメラに装填してください。これを入れ忘れますとメーターが正しくはたらかしません。CdSメーター用の水銀電池はナショナル製M-Pあるいは東芝製TH-MPです。アメリカのマロリー社RM-1に相当し普通1年以上のご使用にたえます。

水銀電池を入れるときには、

●まず乾いた布で両極をよくふいて指紋や汗を落してください。これをおこたりますと腐蝕によりカメラの接点をそこないますからご注意ください。

- 1 押さえ金具の先端を持ち上げて、ストッパーからはずし、横に回します。
- 2 電池は図にしたがって入れてください。このとき電池の⊕が上面になります。
- 3 押さえ金具をもとに戻して、ストッパーにはめこみます。

●電池の寿命が切れたときには、メーター指針がはたらかしません。このときには水銀電池を取換えてください。

●⊕⊖を間違えるとメーターは正しくたはらきません。

●また、長期間カメラを使用しないときには電池を取出しておき、その保存には乾燥した場所をおえらびください。

フィルムのつめ方

フィルムは市販のペトローネ入りフィルムを使います。



1

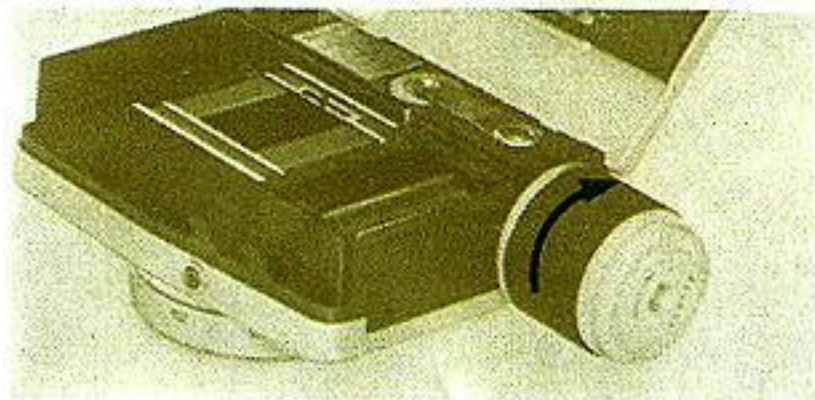
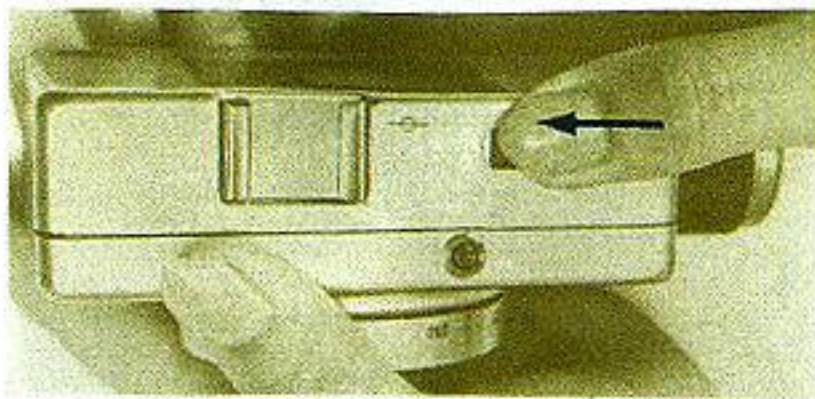
裏蓋開閉ノブを矢印の方向に押しあげると裏蓋が開きます。

●フィルム枚数計はS（スタート位置）をさしています。

2

はじめにグリップを右回しに回し巻取りスプールの回転を確かめます。

※グリップは反対に回さぬこと。



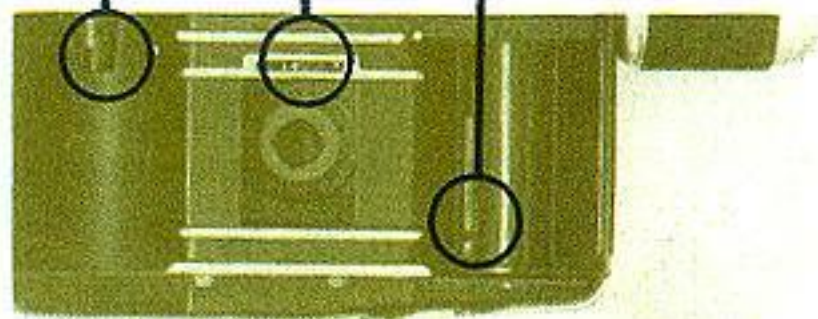
3

パトローネ室にフィルムを取めます。

● 巻戻しフォークは引出せないようになっていますから、パトローネを斜めにして室内に取めます。

● パトローネがなかなか収まらない場合には、指先でパトローネを軽く左右に動かすと簡単に収まります。

フォーク ギヤー 突起



4

フィルムの先端を巻取りスプールの溝に差しこみ、フィルムの孔を確実に突起にかかけます。

● スプールの溝が裏側にかくれているときはグリップを回して、つめやすい適当な位置に出します。

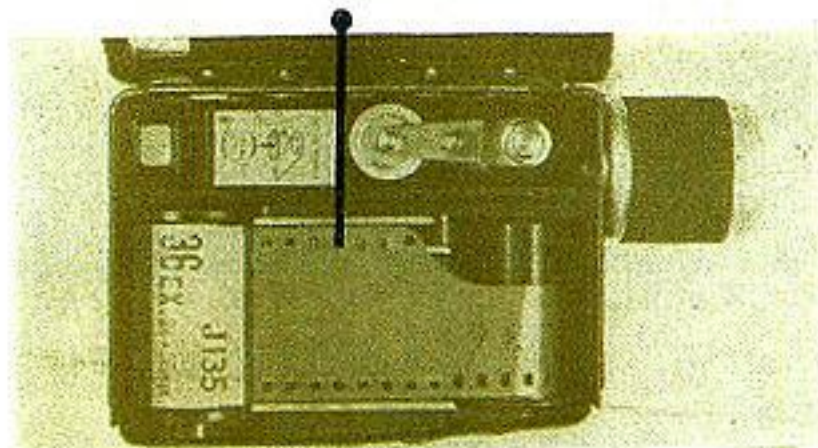


突起にかける

5

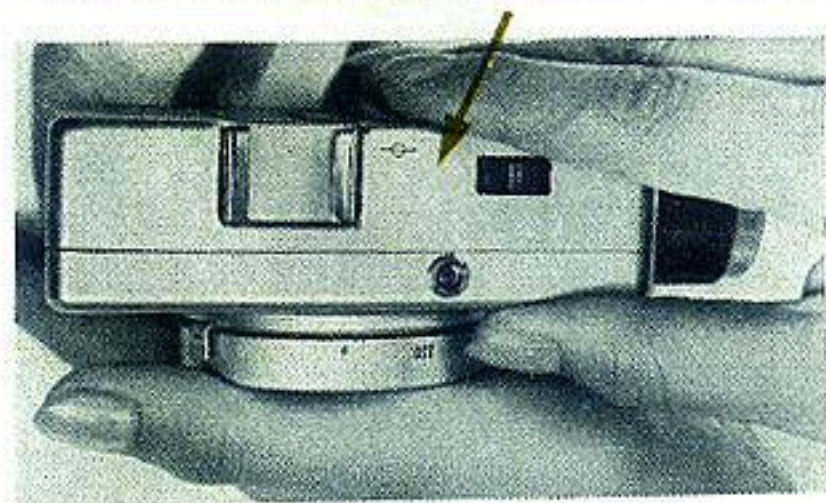
グリップを少し回して、フィルムのたるみをとります。

ギヤーにかける



6

裏蓋を押しつけて閉じます。



フィルムリーダーの空送り

1

裏蓋を閉じてから、矢印の方向にグリップを回してスプリングモーターを巻上げると、フィルム枚数計はSから0まで進みます。

●この間に、フィルムのリーダー部分が送られて、自動的に1枚目がセットされます。

2

空送りがすんで枚数計が0になってからも、グリップをから回りするまで一杯に回してスプリングモーターを巻上げておきます。

●1回の巻上げで、フィルム約20枚以上の撮影ができます。さらに撮影を続けたいときには、もう一度スプリングモーターを一杯に巻上げてください。40枚撮影

する場合には、2度巻上げることになります。

- スプリングモーターを巻上げないと、フィルムは巻かれず、シャッターも切れません。
- フィルム枚数計は5枚目ごとに数字が目盛られています。



1

撮影レンズの外側にあるローレットに指をかけて回し、

2

使用するフィルムの感度目盛を、シャッターリングに彫刻してある指標に合わせます。

- このカメラは構造上、表示されているフィルム感度目盛の中間位置にセットしても使用できません。
- ASA 感度目盛にないフィルムを用いるときには、いちばん近い目盛をご使用ください。たとえばASA 80に対してはASA50～64にセットします。
- 各目盛は、それぞれ指標の位置でクリックストップします。これを無視すると正しい露出が得られません。

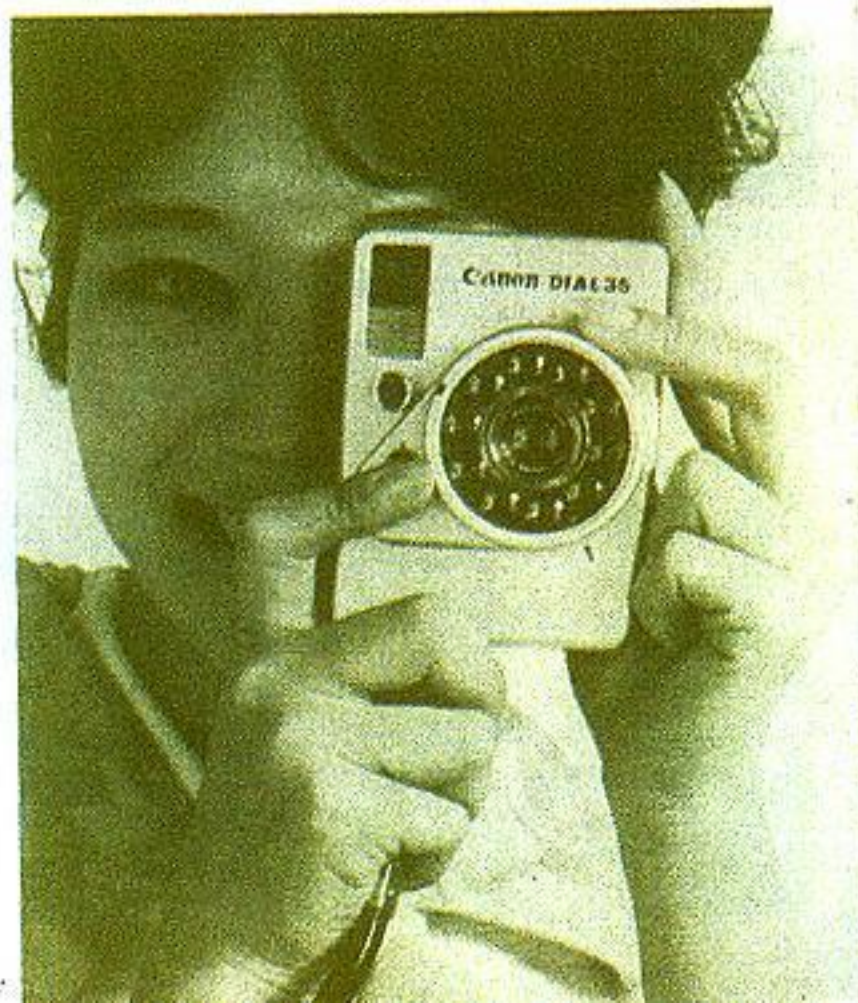
●ASA DIN 感度対照表はカメラの裏蓋にあります。

| | | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| ASA | 8 | 12 | 25 | 50 | 100 | 200 | 400 |
| | 10 | 16 | 32 | 64 | 125 | 250 | 500 |
| DIN | 10 | 12 | 15 | 18 | 21 | 24 | 27 |
| | 11 | 13 | 16 | 19 | 22 | 25 | 28 |

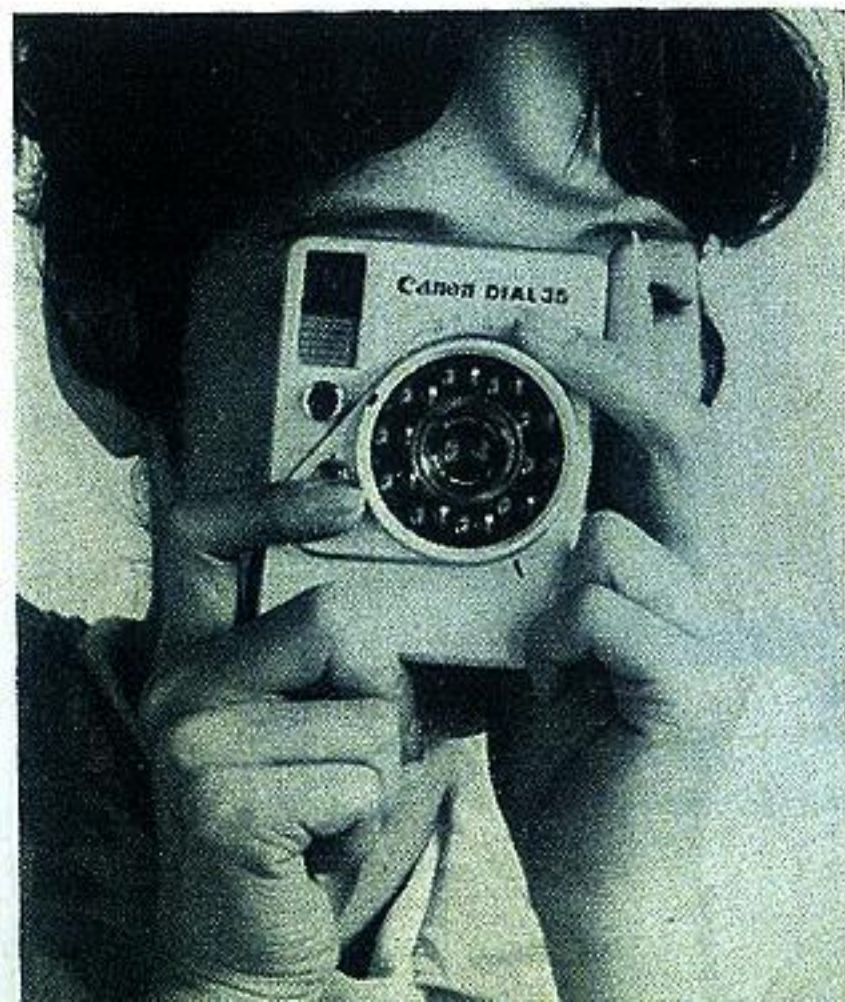


カメラの構え方

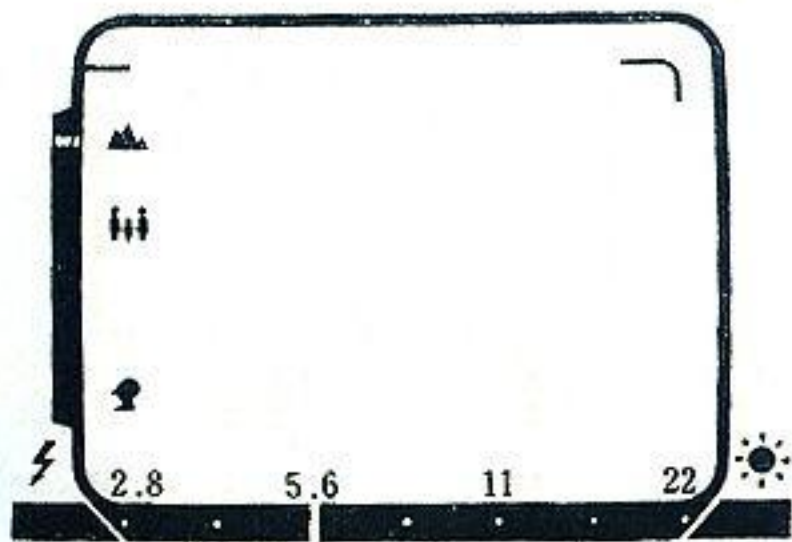
ダイヤル35ではファインダーを覗くとカメラの上部が自然に額に当るようにデザインされており、カメラぶれを防ぐことができます。

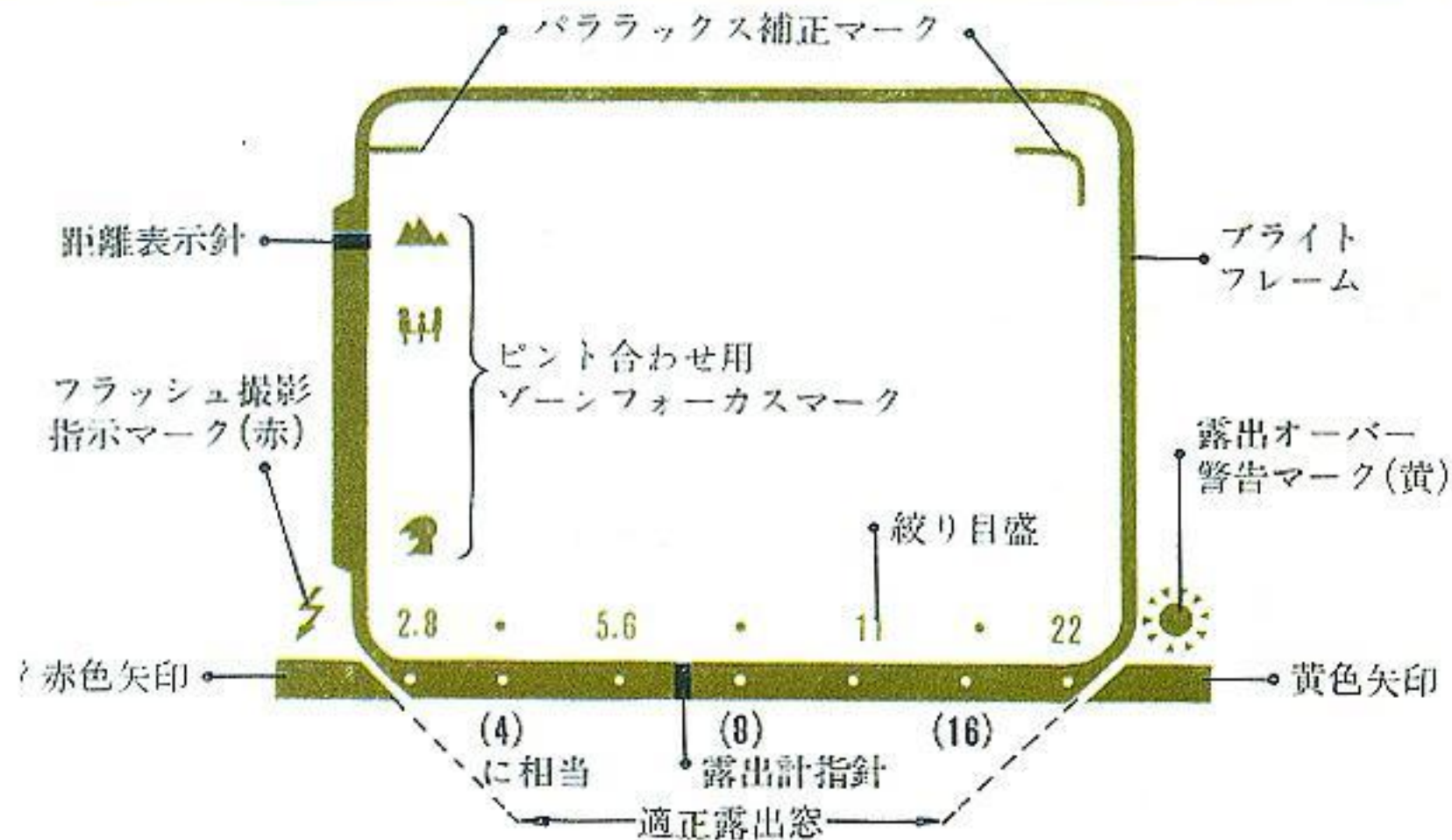


● ファインダーをのぞきます



● ファインダー視野には、構図をきめるフレーム、3つのゾーンフォーカスマークとピント合わせを知らせる指針、絞り数値や露出計指針などが見えます。





露出のきめ方



● カメラを被写体に向けてファインダーを覗き、メーターの指針が適正露出窓(2.8-22)の絞り値の中にあるかどうかを確かめます。

● この窓の中に針があるときには、そのままゾーンフォーカスマークを確認してシャッターを切ると適正露出の写真が撮れます。

● 指針が、赤い矢印または黄色の矢印の中にある場合には、被写体の明るさに対して、シャッタースピードが速すぎるか遅すぎることを示しています。

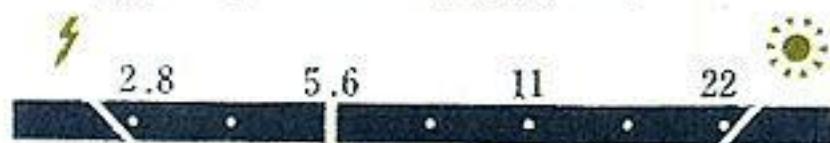
● このときには、シャッターリングを矢印の方向に回し、適正露出窓の中に指針が入るようにします。

● あらかじめ、シャッタースピードを250 快晴、125 晴、60 曇、30 室内あるいは雨、ときめて指標にセットしておくと便利です。

● シャッターリングを一杯に回しても指針が ⚡ マークに入ったまま動かないときには、暗すぎる場合ですから EE 撮影をやめてフラッシュ撮影、☀ マークに入ったまま動かないときには、明るすぎる場合ですからキヤノン ND4、ND8 などのフィルターを使用します。

● 適正露出窓の上の数字は絞り値です。指針の位置で適正絞りが読取れます。




● 指針が警告矢印の中にあるときでもシャッターボタンは押せますが、適正露出は得られません。ご注意ください。



●ピントの合わせ方

露出がきまったらピントを合わせます。

1

ファインダーを覗きながらフォーカシングレバーを回して、ゾーンフォーカスマーク（ 風景、 グループ、 ポートレート）に針を合わせます。

● レンズの被写界深度は非常に深いので、ゾーンフォーカスマークを利用して、気軽に撮影を楽しむことができます。

2

正確な距離合わせをしたいときにはフォーカシングレバーを左右に回して、使用する距離目盛に指標を合わせます。



遠距離マーク（10m以上）



中距離マーク（3m //）



近距離マーク（1m //）

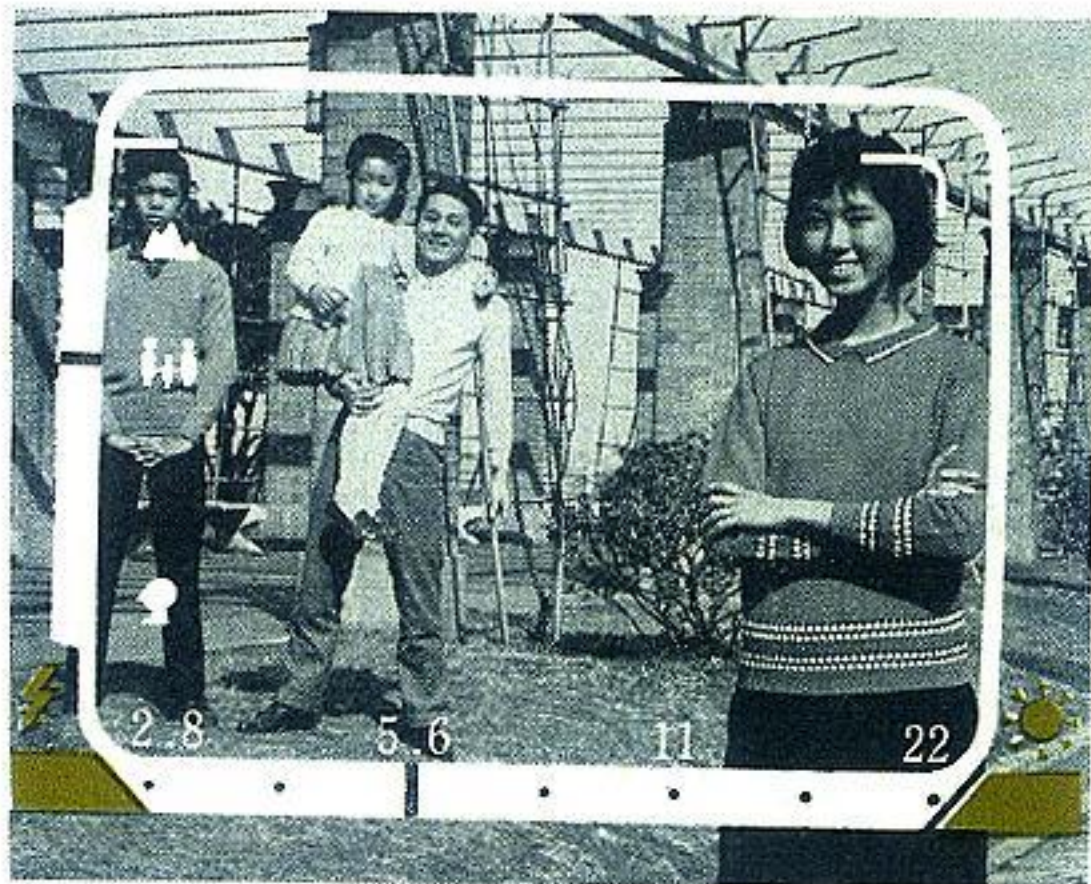
一人の場合でも距離がはなれているときには、中距離や遠距離用のマークを使用することになります。



ファインダーで構図をきめる

白線の中がフィルムに写る範囲です。

近距離撮影(1m)のときは、多少のパララックスが出ますから、補正マーク内で構図をきめてください。



シャッターボタンを押す

シャッターボタンは、手ぶれの無い鮮明な写真を撮るため静かに押します。

シャッターが切れてボタンが元の位置に戻ると同時に、スプリングモーターによって自動的に1コマ分のフィルムが巻上げられて、次の撮影ができます。

- フィルムが送られている最中にシャッターボタンを押さないでください。
- フィルム送りの途中でシャッターボタンを押すとスプリングモーターが急停止することになり、フィルム送り機構に悪影響を与えますからおさげください。



フィルムの巻戻し

フィルムが終りになると、スプリングモーターを一杯に巻上げても、シャッターボタンは押しませんから、撮影を止めてフィルムを巻戻します。

1

フィルム巻戻し用のRボタンを右に回しながら押しこみ、Rボタンの白点をボディ側の白点に合わせます。

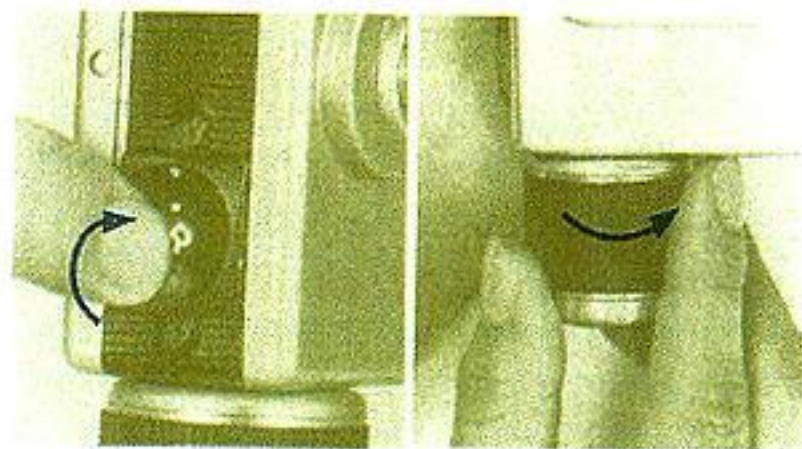
2

フィルムはスプリングモーターの巻上げられている分だけ自動的に巻戻されます。

- その量はスプリングモーターが一杯に巻上げられている場合に約20枚分です。

3

その後はRボタンから指を離さずに、フィルム枚数計がSになるまでグリップを



回します。

4

フィルム枚数計がSになったときには、フィルムははじめに装填したときの状態に巻戻されています。

5

裏蓋開閉ノブを矢印の方向に押上げて裏蓋を開き、パトローネを取出します。

フラッシュ撮影 (AUTOをはずす)

フラッシュ撮影の場合には、ファインダー窓の下にある絞りボタンを引出して左右に回すと、メーター指針が動きますから、希望する絞り値を選ぶことができます。

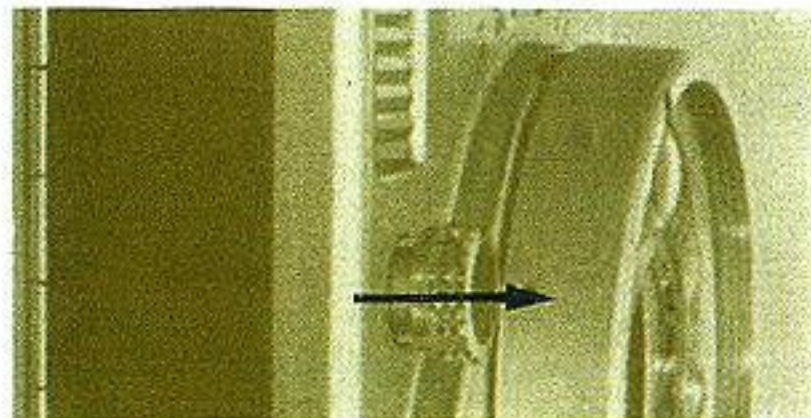
シャッタースピードはシャッターリングを回して、リングに彫刻されている目盛を指標に合わせることで、好みのスピードが選べます。

フラッシュからE/E撮影に切替えるときには、ボタンを押込めば再びE/Eとなります。

フラッシュユニットの取付け

コードをフラッシュソケットに差しこみアクセサリーシューにフラッシュユニットを取付けます。

バルブの同調範囲は次頁の通りです。



フラッシュの同調範囲

| バルブの種類 シャッター スピード | X スピード ライト | F クラス | M クラス |
|-------------------------|------------------|----------|----------|
| 1/30 | ○ | ○ | ○ |
| 1/60 | ○ | ○ | ● |
| 1/125 | ○ | ● | ● |
| 1/250 | ○ | ● | ● |

○使用できる

●使用できない

絞りの決め方

絞り値は使用するフラッシュバルブのガイドナンバーを距離で割って求めます。

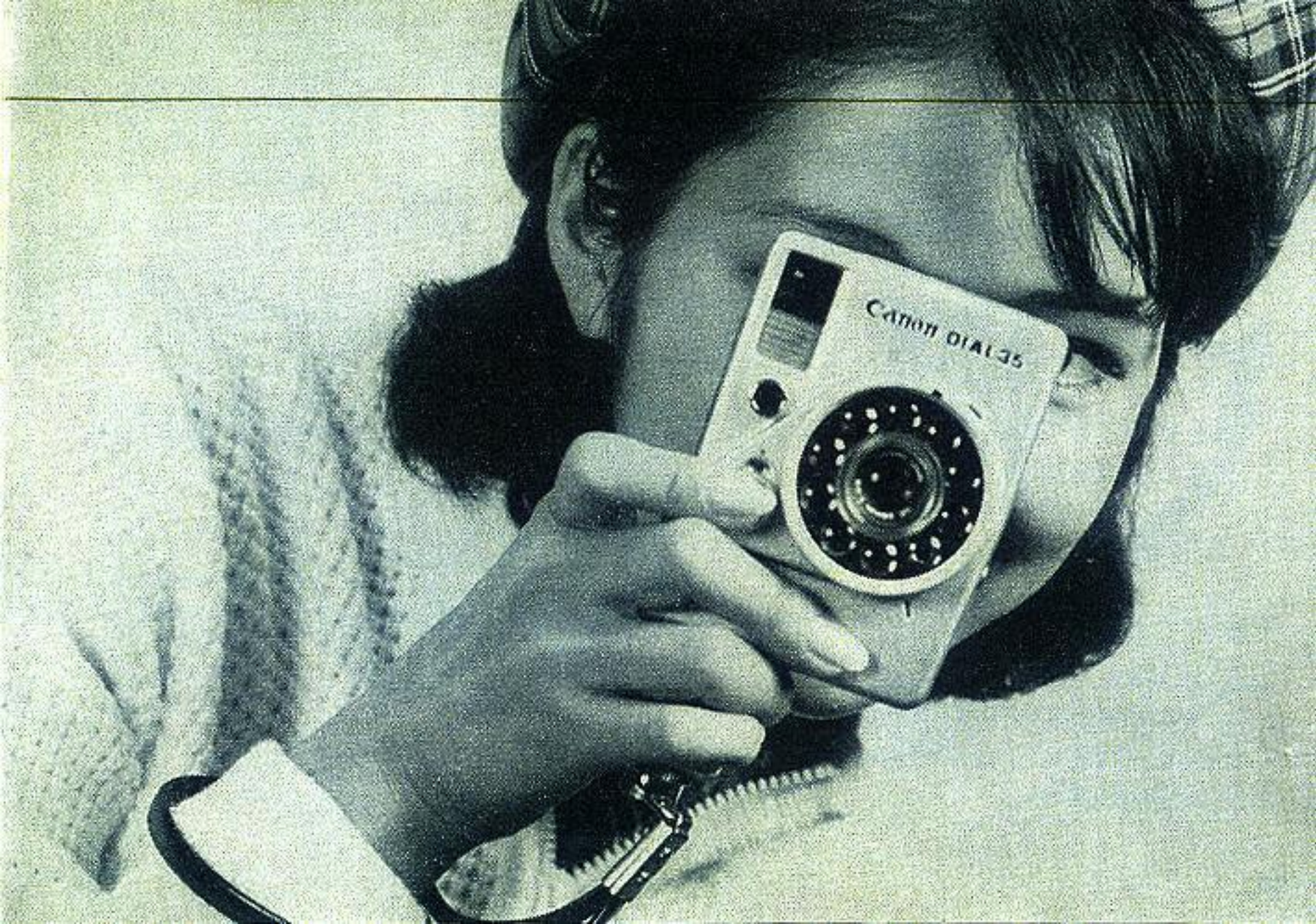
$$\text{絞り値} = \frac{\text{ガイドナンバー}}{\text{撮影距離}}$$

次に切換えボタンを回して上記の計算によって算出された絞り値をファインダー内の数値に合わせます。

この場合キャノンフラッシュユニット J-3 をご使用になれば、計算盤によりわずらわしい計算をしなくても済みます。

● スピードライト使用の場合、露出はシャッタースピードに関係なく、閃光時間だけのごく短い露出に相当します。

従って絞りの決め方はシャッタースピードに関係ありません。



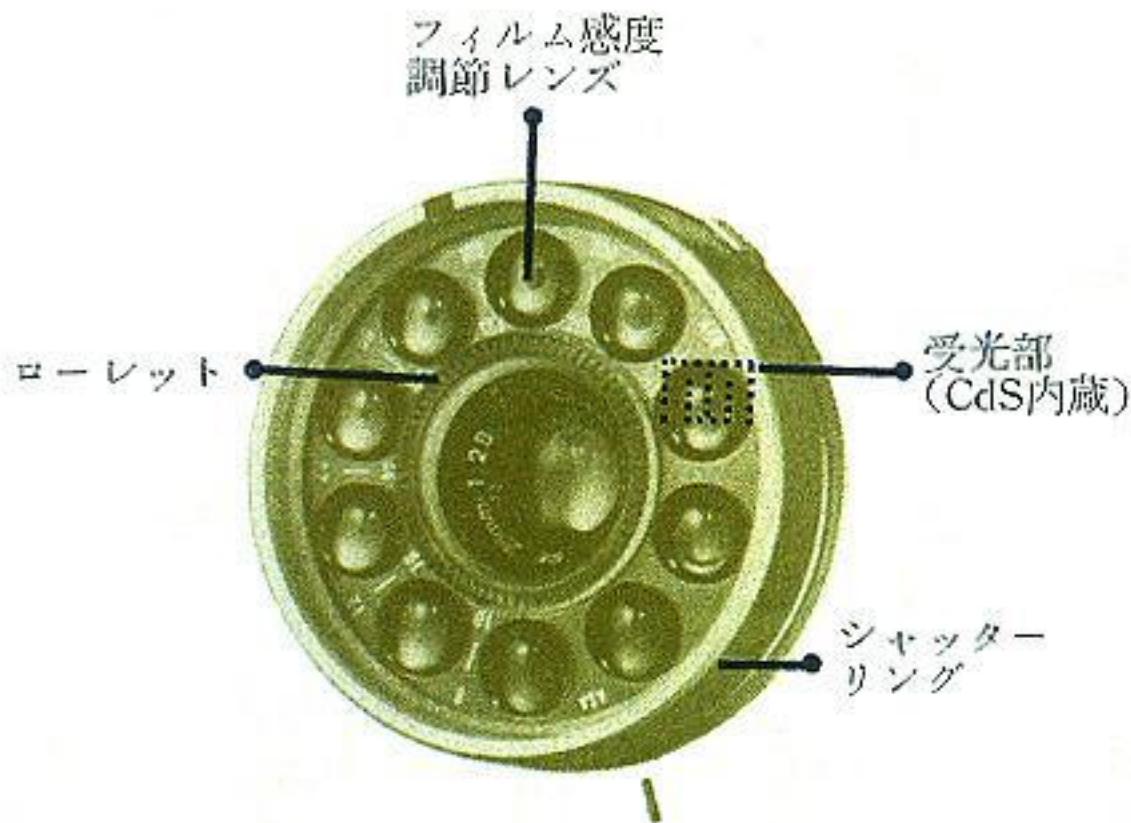
ご 注 意

CdSとメーター感度のセッ ト

● ローレットに指をかけて回すと、フィルム感度調節レンズは回りますが、CdSは回りません。

● ローレットがカチッと軽くとまると、CdSのちょうど真上に固定絞りがきま
す。したがって中間の位置
では適正露出が得られませ
ん。

● シャッターリングを回し
てもCdSは回りません。フ
ィルム感度調節レンズ全体
が回り、自動的に露出の補
正が行われます。



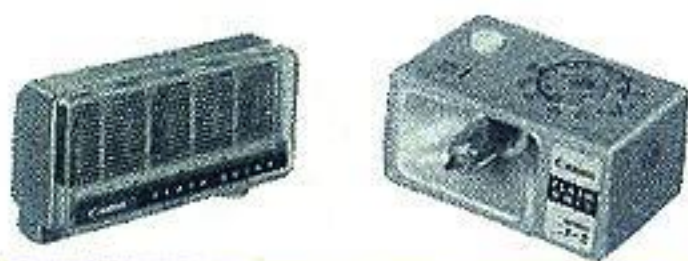
●フラッシュユニット J-3 1,050円
PH および AG タイプのベースレスバルブ用
ソケット切換式。

●フラッシュクイント 2,950円
5 コのフラッシュバルブを連続発光させること
ができる小型発光器です。AGタイプ専用。

●セルフタイマー 6 540円
ボタンを押してから5～12秒後にシャッター
を作動させる時限調節式。

●キヤノンリリース（全金属製） 250円
手ぶれやカメラぶれを防ぐために三脚と併用。

●リリースアダプター 100円
キヤノンダイヤル35に、セルフタイマー 6 あり
いはリリースを取付ける際使用するアダプ
ターです。



フィルターの使用

フィルターをかけてEJ撮影をする場合にはフィルム感度調節用の受光レンズ群をも同時にカバーできますから、露出倍数に神経を使う必要は全くありません。ねじこみ式48mmフィルターを使用します。

48mm ねじこみフィルター

Pケース付・黑白用、カラー用が11種用意されています。

- | | |
|---|----------------------|
| UV：常用フィルター | 780円 |
| Y ₁ 、Y ₂ 、O ₁ 、R ₁ 、G ₁ 各色 | ：黑白用 各750円 |
| ND4、ND8 | ：光量調節用 黑白カラー共通 各780円 |
| CCA、CCB、SKY | ：カラー専用 各780円 |



ファインダー接眼窓

アクセサリシュー

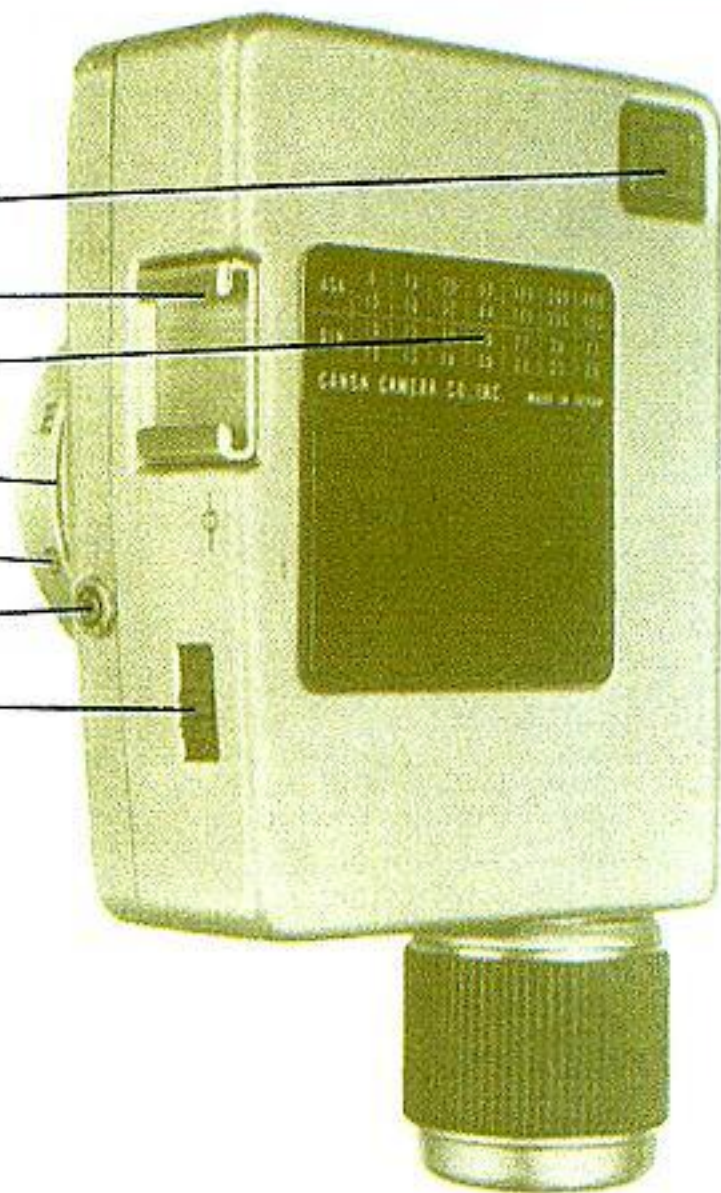
ASA—DIN換算表

シャッターリング

シャッター速度目盛

フラッシュソケット

裏蓋開閉ノブ



Canon
ダイヤル35

キヤノンカメラ株式会社

東京都中央区銀座5-3 電話572 太代表 4251

サービスステーション

東京・中央区銀座5-3 (本社1階) 電話 572-4271 ~ 3

大阪・北区梅田2 (第一生命ビル2階) 電話 361-1261・1701

名古屋・中村区広小路西通2 (大森ビル6階) 電話 55-2811

広島・広島市織町2-6 電話 21-4615・4616

福岡・天神1-11-17号 (福岡ビル9階) 電話 76-2818・1061

札幌・北三条西4-1 (第一生命ビル4階) 電話 23-5788・22-7322

仙台・仙台市東三番丁68 (富士ビル8階) 電話 25-0215 ~ 7

新潟・新潟市東大通1-23 (フルタケビル7階) 電話 4-0758 ~ 9

静岡・静岡市御幸町9-2 (大吉野ビル2階) 電話 54-3936